



一般社団法人 八重山青年会議所 2017年8月度例会

「やえやまクエストⅡ ～目覚めた^{いにしえ}古の宝たち～」開催要項

事業実施の背景

進学や就職で故郷を離れる機会があり、生まれ育った地域と比較したときに新しい視点で地域を見る事ができ、多くの地域の魅力に触れる事で、郷土と他地域を比べた時に郷土との違いに触れて初めて幼少期に過ごした当たり前の情景がいかによばらしいかと気づきます。しかしながら、幼少期を八重山で過ごす青少年にとって街並みや自然はごく普通の情景として目に映り、学校単位での学習機会はあるものの、危険も多く行動範囲も限られているため、地域の特色や歴史など深く学ぶ機会が少ないのが現状です。幼少期の多感な時期に郷土の魅力に実際に訪れ、見て、触れた体験をすることで、地域に誇りを持ち郷土愛を育む機会に繋がります。そこで、石垣市では「島人ぬ宝探しプロジェクト」が始動し、住民からの公募により27か所の宝が発見されました。当委員会ではこのプロジェクトを活用し、教科書に書いてあることだけではわからない地域の宝を知り、継承していく事が現代の青少年に必要なだと考え、本事業立案に至りました。

事業対象者

八重山在住の青少年（高校3年生以下）および、その保護者

事業目的

「島人ぬ宝探しプロジェクト」を活用し、地域の宝を確認しながら、生まれ育ったまちに対する愛着や新しい視点で地域を見つめる機会を体験することで郷土愛を育むことを目的とする。

外部協力

【後援】石垣市観光文化課

【協力】石垣市商工会、石垣市観光交流協会、ゴーゴーラボ株式会社

<<事業概要>>

本事業は、昨年行われた例会「やえやまクエスト」の第2弾として開催します。石垣市が「島人ぬ宝探しプロジェクト」が始動し、これを踏襲する形で地域住民の「地域の宝」を認識し、郷土愛を育む機会を得る場となることが狙いです。実際に足を運び、その場所ごとに出題される関連クイズに答えていくラリー形式を採用しました。

<<ラリーに使用するツール>>

当ラリー参加者は、スマートフォンのGPS機能を使って街探索を行えるWEBサービス&アプリ「まちクエスト」を利用し、八重山の各所を巡ります。当アプリは、目的の場所まで到達す

ると、あらかじめ用意されていたクイズが出題される仕組みになっております。

※クイズに回答するためには、目的の場所近くまで実際に行く必要があります。

参加条件

- ① 2名以上6名以下で1チームを構成すること。
 - ② 参加者は、石垣島在住の高校3年生以下および、その保護者とする。
 - ③ 1チームに必ず保護者が1名以上同伴（同じチームに所属）すること。
 - ④ 参加費は参加者1名につき500円（5歳未満は無料）とする。
 - ⑤ 開会式（8/6）および、閉会式（8/20）に参加できること。
- ※最低でも代表者1名は、開会式と閉会式に参加できること。代表者が参加できない場合は、チーム内のメンバーが1名以上参加できること。
- ⑥ 1チームにつき、インターネットに接続できるスマートフォン、もしくはタブレットを1台用意していただくこと。

イベント開催期間

2017年8月6日（日）から2017年8月20日（日）

子供たちにより多くの八重山各地に点在するクエストを訪れていただくという特徴から、2週間程度（夏休み期間を利用）の事業期間を設けることとします。2週間後の閉会式までの間、各地のクエストを回り関連クイズに答えていただきます。

開会式 8/6 特別クエスト（平喜名クエスト）

開会式では設置し、開会式当日はツールの説明とツールの使い方の練習もかねて平喜名堰を見学しながらクエストラリーを実施します。

※参加費には普通傷害保険に加入する費用が含まれています。

保健期間 2017年8月6日

開催日数 1日

レクリエーション種目 地域限定

保険金額

死亡・後遺障害保険金額	¥7,000,000
入院保険金（日額）	¥ 6,000
手術保険金	入院時 ¥ 60,000
	外来時 ¥ 30,000
通院保険金（日額）	¥ 5,000

閉会式 8/20

閉会式では開催期間中に獲得したポイントから計算した結果より、上位チームに景品の贈呈を行います。

閉会式当日タイムスケジュール	
時間	内容
10:00	石垣市健康福祉センターにて受付開始
10:30	閉会式スタート 主催者代表挨拶
10:33	表彰式スタート
10:53	担当副理事長挨拶
10:55	閉会の辞

※雨天時決行

開会式から閉会式までの間

参加者には八重山各所に散らばったクエストを巡り、クイズに答えていただきます。どのクエストを巡るかは、各参加チームの自由となりますが、クエストで獲得したポイントが高い上位チームは閉会式での表彰の対象となります。この期間にチームでできるだけ多くのクエストを巡り、ポイントを稼いでください。但し、入場料が有料の施設にあるクエストも少なからずいくつか存在します。入場料は各チームのご負担となりますので、予めご了承ください。

※重要保護者の方へ

沖縄県青少年保護育成条例 第3章第9条により、青少年は、午後10時以降午前4時

までの間は、保護者もしくは保護者の委託を受けた大人と一緒になければ外出をしてはいけません。本事業開催中はお子様の保護管理責任は保護者にある考えの下、本条例に違反した場合の責任等につきましては、当青年会議所は一切の責任を負いかねます。

募集人数および募集締め切り

募集人数：最大120名程度

募集締切：2017年7月28日（金）

応募方法

以下のいずれかの方法で応募が可能です。

- ・八重山青年会議所ホームページ（<http://yaeyama-jc.com/>）専用フォームから応募
- ・FAX申込用紙をコピーし、必要事項をご記入のうえ、FAX応募

FAX送付先・お問い合わせ先

一般社団法人八重山青年会議所

住所：〒907-0013 石垣市浜崎町1-1-4 石垣商工会館1F

TEL・FAX：0980-82-6566（電話番号同じ）

URL：<http://yaeyama-jc.com>

担当：青少年郷土愛育成委員会 委員長 田村／事務局 仲間

※電話でのお問い合わせは、平日9：30～16：30まで

個人情報の取り扱いについて

本イベント応募を通じて得る個人情報は、原則として以下の場合にしか使用せず、第三者に開示することは一切ありません。

- ・本イベントの参加者名簿作成に利用します。
- ・イベントに関わる諸手続に利用します。

※「まちクエスト」WEBサービスのプライバシーポリシーについては、別紙1参照とします。

ルール (注意事項および禁止事項)

- ①歩きスマホは思わぬ事故やケガにつながる場合があります。画面を見る際には、通行の邪魔にならない安全な場所で必ず立ち止まり、周囲の安全を確認してください。
 - ②自転車や、車の運転中のスマホ操作は法律で禁止されております。
 - ③私有地や立入禁止の場所に許可無く立ち入ってはいけません。
 - ④クエストの具体的な場所や問題の答えを公開しないでください。
 - ⑤1チーム1アカウントで楽しみましょう。
 - ⑥他人の写真を無断で使ってはいけません。
 - ⑦交通規則を守り、他の通行を邪魔するような路上駐車や低速走行等の違反行為はしないこと。
 - ⑧以上のルールを守り、一所懸命に地域の宝を探すことをチームで力を合わせることを。
 - ⑨クエストの設置場所には景勝地や景色以外に個人の所有物等があります。許可無く写真等をSNSにアップロードしたり、インターネット等に公開するのは絶対にしないこと。
 - ⑩クエスト中に限らず、ゴミのポイ捨て等の景観を乱す行いはしないこと。
- ※その他、利用規約、使用方法については別紙2まちクエスト利用規約かまちクエストホームページをご覧ください

損害の免責等について

- ①当団体は、当サービスの利用により発生した利用者の損害について一切の賠償責任を負わないものとします。
- ②利用者が本サービスを利用することにより、利用者と第三者との間でトラブルが生じた場合、利用者は自己の費用と責任においてこれを解決するものとします。
- ③本サービスの停止に起因する利用者又は他の第三者が被った損害について、当団体は一切の賠償責任を負わないものとします。

参考

石垣市「島人ぬ宝さがしプロジェクト」



プロジェクト
について

スポット紹介

ムービー

ダウンロード

お問い合わせ



島の魅力をもっとみつきたい 島人ぬ宝さがしに出かけよう

「島人ぬ宝さがしプロジェクト」とは？

「島人ぬ宝さがしプロジェクト」は2016年にスタートした、市民参加型プロジェクト。石垣島の島人（しまんちゅ）たちが山、樹木、道など身の回りにあるありとあらゆるものに新しく名前をつけることで、その存在に気がつき、知り、広め、後世に伝えていこうと、石垣島出身のアーティスト、BEGINの比嘉栄昇さんが発起人となり始めたところみだ。

島人ぬ宝さがしプロジェクト発起人メッセージ

2001年、石垣中学校二年二組の子供達が書いた「島人ぬ宝」の歌詞の中に、こんなフレーズがあります。

「僕が生まれたこの島の空を 僕はどれくらい知ってるんだろう 輝く星も流れる雲も 名前を聞かれてもわからない」

島で暮らす人々の心の奥底を表現してくれた、正に宝のような言葉です。

月日は流れ、時代は移り変わり、この歌詞からも新たな意味合いを想像する事が出来ます。僕達は名前を聞かれてもわからない！のではなく名前が無いからわからないのではないか・・・？生まれたばかりの赤ちゃんにも名前がついて、その名を呼べば呼ぶほど愛おしくなりますよね。それは僕達のふるさとと同じなのだと思います。

地域を表す名前はいつ頃ついたのでしょうか？それを名付けた先人達がいて、それをみんなで大事にしてきた歴史があって、今の八重山があります。

そんな先人達に想いを馳せて、2016年8月、「石垣島の新しい名所をさがそう」という島人限定の応募企画「島人ぬ宝さがしプロジェクト」がスタートしました。同年12月、厳正な審査の結果、82件のエントリーの中から22ヶ所もの新たな島の名所が誕生しました。

これらの新たなスポットを元々あった歴史と重複しないように、ちゃんと確認を取りつつ、いままでもあった歴史を大事にしながら、それぞれの地域や島の子供たちと受け継いでいき、大事にしていきたいでしょう。この島には、まだまだ宝が眠っています。

さあ家族や地域のみなさんと、まだ世界中の誰も知らない「島人ぬ宝さがし」に出かけましょう。

島人ぬ宝さがしプロジェクト
発起人 比嘉 栄昇 (BEGIN)

スマホ片手に クイズを解きながら街歩き



<http://machiquest.st>



新感覚の謎解きwebサービス「まちクエスト」



<p>地元再発見の ふらり旅に最適!</p> <p>この街にも 楽しい謎が いっぱいある!</p> 	<p>自分で問題を 投稿もOK!</p> <p>この街を クイズで 楽しもうぞ!</p> 	<p>観光地や イベントの「ラボ」 も楽しいぞ!</p> <p>START</p> 	<p>クエスト(謎) 総数増加中!</p> <p>累計13900件 (2016年8月現在)</p>
---	--	--	---